

樹木類

農薬取締法上、「はなもも」は樹木類に含まれる。

白絹病

留意事項

- 1 SDHI剤<<7>>は耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
 - ・ [リゾレックス水和剤](#) <14> 【1000倍 株元かん注 3L/m² 発病初期/5回】
 - ・ [バシタック水和剤75](#) <<7>> 【1000倍 土壌かん注 3L/m² 発病初期/3回】

灰色かび病

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [フルピカフロアブル](#) <9> 【樹木類(除かし) 2000倍 発病初期/5回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ゲッター水和剤](#) <10> <1> 【樹木類(除ハイドランジア、やなぎ) 1000倍 感染期~発生初期/5回】

うどんこ病

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [フルピカフロアブル](#) <9> 【樹木類(除かし) 2000倍 発病初期/5回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) <1> 【1000倍 発病初期/5回】
 - ・ [トリフミン水和剤](#) <3> 【樹木類(除しきみ) 3000倍 発病初期/5回】
 - ・ [モレスタン水和剤](#) <M10> 【樹木類(除こでまり、ポインセチア、やなぎ) 2000倍 発病初期/10回】

炭疽病 (たんそびょう)

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ペンコゼブ水和剤](#) <M3> 【600倍 発病初期/4回】
 - ・ [ベルコート水和剤](#) <M7> 【1000倍 発病初期/3回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) <1> 【1000~2000倍 発病初期/5回】

くもの巣病

留意事項

- 1 SDHI剤<<7>>は耐性菌が出現しやすいので、1作1回程度の使用に努める。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [リゾレックス水和剤](#) < 1 4 > 【1000倍 発病初期／5回】
 - ・ [バシタック水和剤75](#) << 7 >> 【1000倍 発病初期／3回】

ごま色斑点病

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) < 1 > 【1000倍 発病初期／5回】

斑点症(シュードサーコスポラ菌)

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ペンコゼブ水和剤](#) < M 3 > 【600倍 発病初期／4回】
 - ・ [Zボルドー](#) < M 1 > 【800倍 発病初期／—】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) < 1 > 【1000倍 発病初期／5回】

切り口及び傷口のゆ合促進

防除方法

- 1 下記の薬剤を塗布する。
 - ・ [トップジンMペースト](#) < 1 > 【原液 塗布 せん定整枝時、病患部削り取り直後、及び病枝切除後／5回】

枝枯細菌病

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ペンコゼブ水和剤](#) < M 3 > 【600倍 新梢伸長期～発病初期／4回】

輪紋葉枯病

防除方法

- 1 発生が見込まれる時期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [Zボルドー](#) < M 1 > 【500倍 発病初期／—】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM水和剤](#) < 1 > 【1000倍 発病初期／5回】

アザミウマ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [オルトラン水和剤](#) < 1 B > 【1000倍 発生初期／5回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

カイガラムシ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。

・ [アタックオイル](#) <UNM> 【100倍 ー/ー】

・ [カルホス乳剤](#) 劇 <1 B>

【樹木類(除まさき、もっこく、さくら) 1000倍 発生初期/6回】

・ [マツグリーン液剤2](#) <4 A>

【樹木類(除さくら、プラタナス) 50倍 樹幹注入 春季~秋季/1回】

※処理液量はラベルの記載どおりに行うこと。

【樹木類(除つつじ類、とちのき、プラタナス、さんごじゅ、ひいらぎもくせい、いぬまき、あじさい、さくら)
250倍 発生初期/5回】

アブラムシ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

・ [オンコル粒剤5](#) <1 A>

【樹木類(除つつじ類) 6kg/10a 株元散布 生育期/3回】

・ [アディオン乳剤](#) <3 A> 【樹木類(除くちなし) 4000~8000倍 発生初期/6回】

・ [マツグリーン液剤2](#) <4 A>

【樹木類(除つつじ類、とちのき、プラタナス、さんごじゅ、ひいらぎもくせい、いぬまき、あじさい、さくら)
500倍 発生初期/5回】

ゲンバウムシ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

・ [モスピラン顆粒水溶剤](#) 劇 <4 A>

【樹木類(除まつ、やなぎ、さくら) 2000倍 発生初期/5回】

ハマキムシ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

・ [ディアナSC](#) <5> 【2500~5000倍 発生初期/2回】

イラガ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

・ [トアロー水和剤CT](#) <1 1 A> 【樹木類(除つばき類) 1000倍 発生初期/ー】

エダシャク類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- ・ [スミパイン乳剤](#) < 1 B > 【1000～1500倍 若令・中令幼虫期／6回】

シャクトリムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トレボン乳剤](#) < 3 A >
 - 【樹木類(除つつじ類、ポインセチア、ソテツ) 4000倍 幼虫発生期／6回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) < 3 A > 【樹木類(除くちなし) 4000～8000倍 発生初期／6回】
 - ・ [パダンSG水溶剤](#) 劇 < 1 4 > 【1500～3000倍 発生初期／3回】
 - ・ [エスマルクDF](#) < 1 1 A > 【2000倍 発生初期／—】

トビモンオオエダシャク

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [バシレックス水和剤](#) < 1 1 A > 【500～1000倍 発生初期／—】

ドクガ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スミパイン乳剤](#) < 1 B > 【1000～1500倍 若令・中令幼虫期／6回】

マイマイガ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スミパイン乳剤](#) < 1 B > 【1000～1500倍 若令・中令幼虫期／6回】

アメリカシロヒトリ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [ダイアジノン水和剤34](#) 劇 < 1 B > 【1000～1500倍 発生初期／4回】
 - ・ [トアロー水和剤CT](#) < 1 1 A > 【樹木類(除つばき類) 1000～2000倍 発生初期／—】

ケムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トレボン乳剤](#) < 3 A >
 - 【樹木類(除つつじ類、ポインセチア、ソテツ) 4000倍 幼虫発生期／6回】
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) < 4 A >
 - 【樹木類(除つつじ類、つばき類) 2000倍 発生初期／5回】
 - ・ [アディオン乳剤](#) < 3 A > 【樹木類(除くちなし) 4000～8000倍 発生初期／6回】
 - ・ [カルホス乳剤](#) 劇 < 1 B >

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- 【樹木類(除まさき、もっこく、さくら) 1000倍 発生初期/6回】
- ・ [アクセルフロアブル](#) <22B>
【樹木類(除さくら) 1000~4000倍 発生初期/6回】
 - ・ [ゼンターリ顆粒水和剤](#) <11A> 【1000倍 発生初期/—】
 - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) <5> 【5000倍 発生初期/2回】
 - ・ [エスマルクDF](#) <11A> 【2000倍 発生初期/—】

オビカレハ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トレボン乳剤](#) <3A>
【樹木類(除つつじ類、ポインセチア、ソテツ) 2000倍 幼虫発生期/6回】

カミキリムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を施用する。
 - ・ [ロビンフッド](#) <3A>
【樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 —/6回】
 - ・ [スミパイン乳剤](#) <1B>
【カミキリムシ類(除スギカミキリ) 樹木類(倒木、伐倒木) 50~150倍
300~600ml/m²(樹皮表面積1m²当り) 伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期/6回】
【カミキリムシ類(除スギカミキリ) 50~150倍
300~600ml/m²(樹皮表面積1m²当り) 樹幹散布 成虫の発生初期または直前/6回】
 - ・ [ベニカカミキリムシエアゾール](#) <3A>
【樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 —/6回】

ゾウムシ類

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スミパイン乳剤](#) <1B>
【樹木類(倒木、伐倒木) 50~150倍 300~600ml/m²(樹皮表面積1m²当り)
伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期/6回】
【50~150倍 300~600ml/m²(樹皮表面積1m²当り) 樹幹散布
成虫の発生初期または直前/6回】

フラーパーゾウムシ

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トクチオン乳剤](#) <1B>
【樹木類(除つばき類、さくら、プラタナス) 1000倍 発生初期/5回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合がありますので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合がありますので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

キクイムシ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

・ [スミパイン乳剤](#) <1B>

【樹木類(倒木、伐倒木) 50~150倍 300~600ml/m²(樹皮表面積1m²当り)

伐倒・風倒直後樹皮下及び材内生息期/6回】

【50~150倍 300~600ml/m²(樹皮表面積1m²当り) 樹幹散布

成虫の発生初期または直前/6回】

ハダニ類

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

・ [バロックフロアブル](#) <10B> 【2000倍 発生初期/1回】

ネグサレセンチュウ

防除方法

1 移植前に下記の薬剤を使用する。

・ [アグリメック 劇](#) <6>

【樹木類(除しきみ) 500倍 60分間根部浸漬 移植前/1回】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。